

北見工業大学学報

第 246 号 (2011 年 7 月号)

目 次

入 試	平成 24 年度入学者選抜要項の公表……………	2
	平成 24 年度編入学試験(学力試験入試)の実施……………	4
	平成 24 年度編入学試験(推薦入試)の実施……………	4
研 究 助 成	公益財団法人 日揮・実吉奨学会 研究助成金採択決定……………	5
	平成 23 年度共同研究の受入状況……………	5
	平成 23 年度受託研究の受入状況……………	6
	平成 23 年度奨学寄附金の受入状況……………	6
人 事	人事異動……………	7
諸 報	平成 22 年度教育優秀者表彰式を実施……………	8
	北見工業大学技術セミナー(CPD プログラム認定講座)の開催……………	9
	父母懇談会(春季・北見)を開催……………	10
	「研究室公開」を実施……………	11
	北海道 11 国公立大学進学コンソーシアム 2011 in 旭川 に参加……………	12
	事務職員研修を実施……………	13
	進学相談会(八戸、盛岡)を実施……………	14
	「若手研究者のための Author Workshop」を開催……………	15
	安全衛生講習会の実施……………	16
	根岸英一特別教授特別講演会を開催……………	17
	オープンキャンパスを開催……………	18
学 内 日 誌	6 月・7 月……………	19

= 入試 =

平成 24 年度入学者選抜要項の公表

(入 試 課)

平成 24 年度入学者選抜要項が公表されました。概要は以下のとおりです。

○入学定員（募集人員）

系・学科名		入学定員	募集人員		
			前期日程	後期日程	推薦入試
機 械 ・ 社 会 環 境 系	機 械 工 学 科	160 人	70 人	50 人	40 人
	社 会 環 境 工 学 科				
情 報 電 気 エ レ ク ト ロ ニ ク ス 系	電 気 電 子 工 学 科	140 人	63 人	42 人	35 人
	情 報 シ ス テ ム 工 学 科				
バ イ オ 環 境 ・ マ テ リ ア ル 系	バ イ オ 環 境 化 学 科	110 人	46 人	36 人	28 人
	マ テ リ ア ル 工 学 科				
工学部合計		410 人	179 人	128 人	103 人

※ 入学後1年間は各系に所属し、2年次進級時に本人の志望及び学業成績により系内の学科に移行します。

注① 後期日程の募集人員には、各系とも帰国子女特別入試の募集人員若干人を含みます。

② 推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を後期日程の募集人員に加えて募集します。

○選抜方法等

一般入試

	前期日程	後期日程
選抜方法	入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績及び出身学校長から提出された調査書の内容を総合して行う。	大学入試センター試験の成績、本学が行う個別学力検査の成績及び出身学校長から提出された調査書の内容を総合して行う。
出願期間	平成24年1月23日(月)～平成24年2月1日(水)	
試験日	個別試験は課さない	平成24年3月12日(月)
合格発表	平成24年3月6日(火)	平成24年3月20日(火)

推薦入試

選抜方法	学校長より推薦された者について、調査書、推薦書の内容及び小論文、面接の結果を総合して行う。
出願期間	平成 23 年 11 月 1 日（火）～ 平成 23 年 11 月 8 日（火）
出願要件	<p>高等学校又は中等教育学校を平成24年3月卒業見込みの者で、次の二つの条件を満たし、かつ志望する系への能力・適性等について学校長が責任を持って推薦できるもの</p> <p>① 高等学校又は中等教育学校における学習成績・人物ともに優れ、特に数学、理科の成績が優秀な者</p> <p>② 志望する系の分野に強い勉学意識と関心を持ち、大学での学習において優れた成果が期待できる者</p>
選抜期日	平成 23 年 12 月 2 日（金）
合格発表	平成 23 年 12 月 14 日（水）

帰国子女特別入試

選抜方法	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除し、成績証明書等の成績、小論文及び面接の結果を総合して行う。
出願期間	平成 23 年 11 月 1 日（火）～ 平成 23 年 11 月 8 日（火）
出願要件	略
選抜期日	平成 23 年 12 月 2 日（金）
合格発表	平成 23 年 12 月 14 日（水）

平成 23 年度編入学試験の実施

(入 試 課)

平成 23 年度編入学試験（推薦入試、学力試験入試）が実施され、各学科別の合格者数等は下表のとおりとなりました。

なお、編入学試験（社会人特別入試）については志願者がいなかったため、実施されませんでした。

学科名	推薦入試				学力試験入試			
	募集人員	志願者	受験者	合格者	募集人員	志願者	受験者	合格者
機 械 工 学 科	10	2	2	2	若干人	1	1	0
社会環境工学科		4	4	3		0	0	0
電気電子工学科		0	0	0		2	2	1
情報システム工学科		0	0	0		2	2	1
バイオ環境化学科		0	0	0		3	3	3
マテリアル工学科		1	1	1		1	1	1
合 計		7	7	6		9	9	6

= 研究助成 =

公益財団法人 日揮・実吉奨学会 研究助成金採択決定

(研究協力課)

所 属	職 名	氏 名	研 究 課 題	交 付 金 額	備 考
機械工学科	准教授	林田 和宏	ディーゼルエンジンから排出される炭素質PMの構造形態に及ぼす燃料性状の影響	2,000千円	奨学寄附金として受入れ

平成23年度共同研究の受入状況

平成23年7月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究代表者	研 究 題 目	民 間 機 関 等
地域共同研究センター	教授	有田 敏彦	架空地線の着氷・落氷低減に関する調査研究	中部電力株式会社 電力技術研究所
社会環境工学科	助教	井上 真澄	機能性コンクリートに適用する化学混和剤の研究	日産化学工業株式会社 化学品事業本部
バイオ環境化学科	教授	堀内 淳一	下水汚泥の堆肥化に関する研究	北見市企業局
サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	特任教授	山岸 喬	「本わさび他の香りメカニズムの解明・機能性成分の分析による増減理由の解析」のための共同研究	金印株式会社
機械工学科	准教授	林田 和宏	ディーゼル機関の軽負荷燃焼の改善 一白煙、臭気に関する研究	いすゞ自動車株式会社
機械工学科	教授	富士 明良	新時代工学的素養を有する中核人材の育成	(社)北見工業技術センター運営協会
社会環境工学科	准教授	伊藤 陽司	土砂災害軽減のための地すべり活動度評価手法の開発	地方独立行政法人北海道立総合研究機構
オホーツク地域環境保全研究推進センター/社会環境工学科	センター長教授	中山 恵介	北見市環境調査研究 (大気、水質、騒音・振動、臭気、ダイオキシン類)	北見市
バイオ環境化学科	准教授	岡崎 文保	革新的使用済みプラスチック分解技術に関する基礎研究	JFEスチール株式会社
オホーツク地域環境保全研究推進センター/社会環境工学科	センター長教授	中山 恵介	常呂川水系水質調査研究	常呂川水系環境保全対策協議会
電気電子工学科	教授	柏 達也	偏波面制御ならびに経時的物性値に即応した高効率マイクロ波加熱方式の開発	独立行政法人日本原子力研究開発機構
バイオ環境化学科	教授	吉田 孝	第6次産業人材育成事業の連携体制構築に係る研究	企業組合北見産学医協働センター
サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー	特任教授	山岸 喬	サンゴの高機能性化の研究	株式会社健康水素協会
バイオ環境化学科	教授	堀内 淳一	寒冷地の効率的浄水処理に関する研究	北見市企業局
電気電子工学科	教授	小原 伸哉	北見市新エネルギービジョン改訂に向けた基礎調査研究	オホーツク新エネルギー開発推進機構
機械工学科	教授	佐々木 正史	温泉廃熱高度利用 (ハイブリッド植物工場) 研究	オホーツク新エネルギー開発推進機構
機械工学科	准教授	山田 貴延	オホーツク・オフライン熱供給システムの実現に関する調査研究	オホーツク新エネルギー開発推進機構
バイオ環境化学科	教授	堀内 淳一	水産加工場排水処理装置の開発と実証試験研究	北見市産学官連携推進協議会
社会環境工学科	准教授	宮森 保紀	技術監理を導入した総合的な橋梁振動測定、構造健全度診断手法の開発	株式会社豊水設計
バイオ環境化学科	准教授	菅野 亨	廃石膏ボードの中のフッ素固定・不溶化に関する研究	美幌貨物自動車株式会社
マテリアル工学科	准教授	伊藤 英信	ガラス系機能皮膜の開発とその評価	社団法人北見工業技術センター運営協会
機械工学科	准教授	松村 昌典	住宅用24時間換気システムに関する研究	日本電興株式会社
社会環境工学科	教授	川村 彰	高速道路における走行快適性に関する共同研究	株式会社高速道路総合技術研究所
電気電子工学科	教授	柏 達也	大規模FDTD法を使った電磁界解析技術の構築に関する共同研究	株式会社本田技術研究所 四輪R&Dセンター

平成23年度累計53件

平成23年度受託研究の受入状況

平成23年7月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究担当者	研究題目及び研究期間	委託機関	所要経費
					円
情報システム工学科	准教授	早川 吉彦	高齢者の健康寿命延長のための身体運動機能の向上に着目した咬合の安定と顎運動の解析	独立行政法人日本学術振興会	2,500,000
バイオ環境化学科	准教授	三浦 宏一	「函館マリンバイオクラスター ～UMI (Universal Marine Industry) のグリーン・イノベーション～」	公益財団法人函館地域産業振興財団	600,000

平成23年度累計 4件

平成23年度奨学寄附金受入状況

平成23年7月31日現在

(研究協力課)

所 属	職 名	研究者	寄 附 目 的	寄 附 者	寄附金額
					円
社会環境工学科	准教授	川口 貴之	移動に伴う寄付金の移管のため	函館工業高等専門学校	522,459
社会環境工学科	教授	中山 恵介	尻別川における塩水遡上に関する研究遂行のため	株式会社福田水文センター	100,000
社会環境工学科	教授	大島 俊之	道路構造の防災対策の検討	財団法人北海道道路管理技術センター	300,000
電気電子工学科	教授 准教授	田村 淳二 高橋 理音	小規模系統における出力変動電源の影響低減を目的とした強調制御に関する研究	北海道電力株式会社	1,000,000
	学長	鮎田 耕一	父母懇談会及び就職支援等の事業を推進するため	北見工業大学学生後援会	2,000,000
機械工学科	教授	大橋 鉄也	大橋教授の計算工学による組織と特性予測技術に関する研究助成	社団法人日本鉄鋼協会	200,000
バイオ環境化学科	教授	青山 政和	ササ成分利用研究支援	株式会社ハクジュ・ライフサイエンス	500,000
機械工学科	准教授	林田 和宏	「ディーゼルエンジンから排出される炭素質PMの構造形態に及ぼす燃料性状の影響」に対する研究助成	公益財団法人日揮・実吉奨学会	2,000,000
社会環境工学科	教授	渡邊 康玄	研究のため	一般財団法人北海道河川財団	1,200,000
社会環境工学科	教授	高橋 清	工学研究のため	日本工営株式会社 札幌支店	315,000

平成23年度累計23件

= 人事 =

人 事 異 動

(総務課)

○大学発令

発令年月日	現職名	氏名	異動内容
23.6.30	財務課係長	大桃 琢磨	辞職(北海道大学へ転出)
23.7.1	企画広報課副課長(係長兼務)	坂田 寿	総務課副課長
〃	学生支援課副課長(係長兼務)	藤田 美代子	企画広報課副課長(係長兼務)
〃	財務課副課長(係長兼務)	久田 貢	財務課副課長
〃	総務課副課長	斉藤 順	研究協力課副課長
〃	研究協力課副課長	小野 恵子	学生支援課副課長
〃	研究協力課係長	二村 肇	総務課係長
〃	施設課係長	内山 彰	財務課係長
〃	財務課専門職員	工藤 圭輔	財務課係長
〃	北海道大学財務部資金運用管理課主任	佐々木 徹也	財務課係長
〃	入試課係長	森本 典宏	財務課専門職員
〃	財務課係長	松沼 拓夫	施設課係長
〃	財務課係長	八木澤 学	研究協力課係長
〃	情報図書課係長	福崎 隼人	研究協力課係長
〃	総務課係長	栄浪 晋也	学生支援課係長
〃	総務課主任	上野 智子	入試課係長
〃	研究協力課係長	斉藤 靖子	情報図書課係長
〃	学生支援課主任	高橋 亜喜子	総務課主任
〃	財務課事務職員	反保 聡史	企画広報課事務職員
〃	入試課事務職員	上野 祐輔	財務課事務職員
〃	学生支援課事務職員	笠川 勇将	財務課事務職員
〃	財務課事務職員	泉 真理恵	学生支援課事務職員
〃	企画広報課事務職員	森原 早紀	入試課事務職員

「平成 22 年度教育優秀者賞」表彰式を実施

(学生支援課)

去る 6 月 15 日 (水)、平成 22 年度教育優秀者賞の表彰式を実施した。

「ベストティーチング賞」は平成 13 年に創設されたもので、今回は平成 22 年度に実施した学生による授業評価の結果、授業に対する準備、熱意、指導等が顕著であるとされた教員 8 名 (各学科 7 名、共通講

座 1 名) が受賞し、このうち 1 名は 3 度目、3 名は 2 度目の受賞となった。

表彰式では、鮎田耕一学長から一人ひとりに盾が授与された後、学長から受賞者に対しお祝いの言葉があった。

受賞された方々は、以下のとおり。

「ベストティーチング賞」(敬称略)

機械工学科	教授	鈴木 聡一郎
社会環境工学科	准教授	堀 彰
電気電子工学科	教授	吉田 公策
	助教	岸本 恭隆
情報システム工学科	教授	三浦 則明
バイオ環境化学科	准教授	新井 博文
マテリアル工学科	准教授	村田 美樹
共通講座	准教授	柳 等



学長を中央に「平成 22 年度ベストティーチング賞」受賞者

北見工業大学技術セミナー（CPD プログラム認定講座）の開催

（研究協力課）

平成 23 年北見工業大学技術セミナー（CPD プログラム認定講座）が 6 月 16 日（木）本学多目的講義室で実施されました。

本セミナーは、地域貢献活動の企画として、建設関係技術者に最新技術動向及び建設コンサルタントを取り巻く状況等についての理解を深めてもらうために今回初めて実施したもので、建設コンサルタンツ協会から CPD プログラム認定をうけての実施となりました。

セミナーでは、高橋信夫理事の挨拶後、本学社会環境工学科大島俊之教授、(株)アルゴス北海道支社福田朗裕技術部長、

(株)豊水設計佐藤之信設計部長、及び(株)構研エンジニアリング岩倉敦雄環境保全部長の 4 名の講師が、「社会資本整備の方向性と技術者の役割」をテーマにそれぞれの分野・立場からお話をされました。

平日にも関わらず、オホーツク管内や帯広から設計、測量、コンサルタント関係の技術者約 50 名が参加され、3 月 11 日に発生した東日本大震災の貴重な写真や津波のメカニズム、また、建設技術者からの環境問題への提言などに熱心に耳を傾けていました。



「開会の挨拶をする高橋理事」



「大島教授の講演を熱心に聴く参加者」

父母懇談会（春季・北見）を開催

（学生支援課）

「父母懇談会（春季）」を、6月18日（土）に講堂を説明会場として、外国人留学生及び大学院博士後期課程を除く全学生の父母を対象に、例年恒例となっている大学祭の開催に併せて実施した。

当日は、全国から137組187名の父母が参加し、まず始めに全体説明会において、鮎田学長から挨拶があった後、田牧副学長からは「本学の教育及び就職状況等」について説明があった。また、学生後援会会長

からは、当会の活動状況が報告されるなど、様々な情報が父母に提供された。

その後、各学科・専攻に分かれた個別面談では、各学科の教員が対応し、父母からは修学状況、就職等について質問が出され熱心なやりとりが交わされた。

また、会場前においては、大学認定商品の菓子「雪まりも」の他、大学関連グッズの販売を行い、参加した父母からは大好評を得た。



全体説明会の様子

「研究室公開」を実施

(企画広報課)

6月18日(土)～19日(日)に開催した第49回大学祭において、「研究室公開」を実施しました。普段、学外の方が目にする機会の少ない本学の研究内容をやさしく楽しく紹介しました。2日間で、お子様からお年寄りまでたくさんの方が来場してくださいました。



ロボコンのデモンストレーションおよび操縦体験

公開した研究室のテーマ
QVICで超立体視
仮想空間で力の伝わり方をドミノ倒しで体験しよう！
白滝ジオパーク構想における生田原地域のジオサイト候補ーゼオライト鉱床、金鉱床、銅鉱床、地すべり対策施設などー
コントロールを考えるーロボットと車両ー
光学ワンダーランド
シイタケ（が作る酵素）で色を変える
ナノの世界を覗こう
ロボコンのデモンストレーションおよび操縦体験
クリーンなエネルギーを学んで、化学で遊ぼう!!



光学ワンダーランド



クリーンなエネルギーを学んで、化学で遊ぼう!!

北海道 11 国公立大学進学コンソーシアム 2011 in 旭川 に参加

(入 試 課)

6月18日(土)、旭川東高等学校を会場に実施された「北海道 11 国公立大学進学コンソーシアム 2011 in 旭川」に参加しました。

当日は、各大学がひとつずつ教室を使い、ミニ講演会や大学紹介 DVD の上演会等を行

いました。本学は各学科研究内容のポスター等を展示した他、個別相談会や機械工学科・鈴木聡一郎教授、情報システム工学科・亀丸俊一教授によるデモンストレーションを実施し、63 人の高校生が参加しました。



鈴木教授によるデモンストレーション



個別相談会

事務職員研修を実施

(総務課)

本学では、6月24日に事務職員研修を実施した。

研修は、講師に慶應義塾大学信濃町キャンパス事務長の上杉道世氏（元東京大学理事）を迎え「国立大学事務職員に求められるもの」と題した講演会と、本研修のため事前に行ったアンケートを基にしたディスカッションの2部構成で行われた。参加者は、大学マネジメントに造詣が深い上杉事務長の講演に熱心に聞き入り、その後、「あるべき職員像に近づくために何をすべきか」について、グループに分かれて討議し、短時間ではあったが、活発な意見交換が行

われ、最後に、各グループの代表による発表を行った。それぞれの発表に対して、上杉氏からの的確な助言があり、和やかな雰囲気の中にも大学職員として、今後の北見工業大学をどのように支えていくべきかについて様々な角度から理解を深めた。

研修終了後、上杉氏は展示スペース「KIT GALLERY」に移動し、本学の50年の歴史を紹介する沿革パネルや、「骨格の特徴に適合したスキーブーツの研究・開発」や「地球の気候変動を解明する南極氷床コア掘削機の開発」に関する特色ある研究の展示に、質問を交え見学を行った。



「KIT GALLERY」を見学する
上杉元東大理事



事務職員に対し講演を行う
上杉元東大理事

進学相談会（八戸、盛岡）を実施

（入 試 課）

平成 23 年度北見工業大学進学相談会を八戸（7 月 2 日土曜日）、盛岡（7 月 3 日 日曜日）で実施し、合わせて 131 人が参加

しました。当日は田牧純一副学長からの挨拶の後、本学の概要等を説明し、個別相談会等を行いました。



全体説明（八戸）



全体説明（盛岡）



各系の個別説明（八戸）



高校教諭対象の説明（盛岡）

「若手研究者のための Author Workshop」を開催

(情報図書課)

7月5日に本学の学生・教職員等を対象に総合研究棟 2F 多目的講義室に於いて「若手研究者のための Author Workshop ～アクセプトされる論文とは～」を開催しました。本学では5月16日より、エルゼビア社が提供する、約4,300万件以上の論文の文献情報とその参考文献、引用文献の情報を検索できる世界でも有数規模のデータベース「SciVerse Scopus」のトライアルを開始しました。今回のワークショップはエルゼビア・ジャパン社の提案により、これから研究者を目指す方を対象に、英語論文を作成する際の心構えやコツ等を紹介するものでした。

本学機械工学科・大橋鉄也教授による「研究の本流に漕ぎ出そう」では、最初は小さな流れでも、成長する流れ、成長性を見抜く事の重要性や、研究の計画、テーマの設定について、ご自分の経験をもとに、丁寧に、力強くアドバイスをいただきました。

エルゼビア・ジャパン社の恒吉有紀氏による「論文出版までの流れと論文収集・管理に便利なツール Scopus のご紹介」では、現在トライアル中の「SciVerse Scopus」の詳細な使い方の紹介と共に、論文審査のプロセスや、良い論文の条件等についても紹介がありました。

英文校正会社エダズ社の Warren Raye 氏による「Language style and accuracy: Help and advice Language, from a language editor」では、科学論文のための英語についてお話していただきました。特に非英語ネイティブ研究者が陥りがちな勘違い、間違い等について、演習問題を交えながら解説されました。

学生・教職員の方々延べ69名の参加があり、最後には予定時間を若干過ぎるまで質疑応答が行われました。アンケートでは多くの方が「役に立った」と回答しており、非常に有意義なワークショップとなりました。



講演する大橋教授



エルゼビア・ジャパン社の恒吉有紀氏



エダズ社の Warren Raye 氏



演習問題に取り組む参加者

安全衛生講習会の開催について

(施設課)

7月8日(金)、第一講義棟 B111 講義室にて平成23年度第1回安全衛生講習会が行われ、学生及び教職員あわせて約70名が参加しました。

開催にあたり高橋信夫環境安全センター長から「多くの教職員・学生が活動している場ということで実験室・研究室には事故が発生するリスクが常にあります。『慣れ』というもの大きな事故に繋がる可能性もあるため正しい知識と安全配慮を」との注意喚起がありました。

その後バイオ環境化学科 伊藤好二講師

より「労働安全衛生と関係法令 ヒューマンエラー」と題してお話いただきました。

安全衛生に関する歴史的背景とそれぞれに対応した法律について説明をしたのち、ヒューマンエラーはどのような流れで起こるのか、どうすれば防ぐことができるのかという内容へと展開され、具体的に本学で実施されている作業環境測定について解説がありました。最後に、技術部 橋本晴美専門職員から平成22年度の産業医及び衛生管理者の巡視結果が報告され講習会は終了しました。



講習会の様子

根岸英一特別教授特別講演会を開催

(学生支援課)

7月28日(木)、2010年ノーベル化学賞を受賞されたアメリカ・パデュー大学根岸英一特別教授をお迎えして特別講演会を本学講堂で開催しました。

今回の特別講演会は、北海道教育委員会との共催事業の一部として本学学部学生を対象とした「総合工学Ⅰ」の授業として開催しましたが、根岸特別教授の御講演を傾聴するまたとない機会であるため、教職員への周知も行いました。

会場には学生、教職員併せて450人ほど

が詰めかけほぼ満席となり、まず初めにノーベル賞受賞時の映像が10分程流された後、根岸特別教授が客席から登壇すると万雷の拍手がまきおこりました。

引き続き、根岸特別教授からノーベル化学賞受賞理由となった「有機合成におけるパラジウム触媒クロスカップリング」に関する講演が行われ、予定していた1時間を超過する熱のこもった講演に対して会場から大きな拍手が送られる中、特別講演会は無事終了しました。



講演される根岸英一特別教授と受賞されたノーベル賞のメダル

オープンキャンパスを開催

(入 試 課)

7月30日(土)、高校生や父母等を対象として、本学の内容をより理解されることを目的にオープンキャンパスを開催し、286人が参加しました。

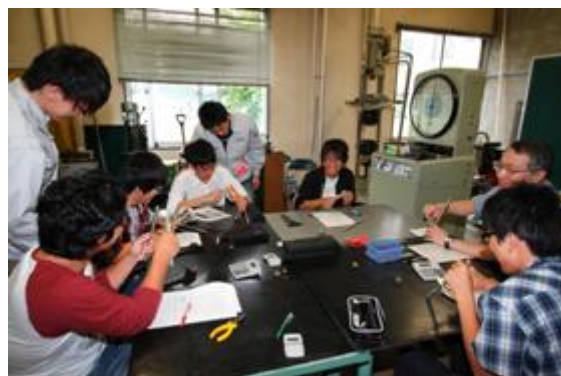
当日は鮎田耕一学長の挨拶、田牧純一副学長による大学概要の説明、3系列の紹介の後、各学科等において体験学習が実施さ

れ、参加者たちは希望する学科の実験や模擬授業などを体験しました。

昼食は在学生に人気のメニューが参加者全員にふるまわれ、午後からは体験学習の第二部及び個別相談会、キャンパスツアー、父母向けの北見市の紹介等が行われました。



鮎田学長の挨拶



体験学習の様子



学食体験の様子



個別相談会の様子

= 日誌 =

6 月

- 6 日 役員会
- 8 日 編入学試験(推薦)
- 9 日 経営協議会、学長選考会議、役員会
- 10 日 教務委員会
- 13 日 役員会
- 14 日 入学者選抜委員会
- 15 日 教授会、研究科委員会、教育優秀者賞表彰式
- 16 日 技術セミナー(CPDプログラム認定講座)
- 17 日 教育研究評議会
- 18 日 父母懇談会(北見)、大学祭(~19日)
研究室公開(~19日)
- 24 日 機器分析センター兼任教員会議
- 27 日 役員会

7 月

- 2 日 進学相談会(八戸)
- 3 日 進学相談会(盛岡)、北海道地区大学体育大会(剣道)
- 4 日 役員会
- 5 日 若手研究者のためのAuthor Workshop
- 6 日 教育研究評議会
- 8 日 安全衛生講習会、学生委員会
- 12 日 教務委員会
- 13 日 情報システム運営委員会、編入学試験(学力試験)
- 19 日 役員会、入学者選抜委員会
- 20 日 教授会、編入学試験合格発表
- 25 日 役員会
- 26 日 図書館委員会
- 28 日 根岸英一特別教授特別講演会
- 30 日 オープンキャンパス

